

2010年12月3日



国内最大級の環境展示会『エコプロダクツ 2010』 セブン&アイ・ホールディングスが出展 ～「やってみよう！エコアクション」をご提案！～

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（以下、セブン&アイ、東京都千代田区、代表取締役社長：村田紀敏）は、12月9日（木）～11日（土）に東京ビッグサイトにて開催される国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ 2010」（来場者見込み：約18万5千人/入場：無料）に出展いたします。（出展は2008年以降、今回で3回目となります）

記

【出展ブースの概要】

セブン&アイにおける最新の環境の取り組みをご紹介する約8mのパノラマシアターをはじめ、環境保全活動を『生物多様性ゾーン』『企業でできるエコアクション・ゾーン』『家庭でできるエコアクション・ゾーン』の3つのゾーンに分けて展示、ご説明いたします。こうした見学学習に加え、環境と日常生活のつながりについて自分自身で考えられる体験型の展示も企画いたしました。

1. パノラマシアター

- ・最新の環境配慮型店舗「アリオ橋本」のご紹介
- ・セブン-イレブン店舗建築資材のリユースを初公開
- ・商品の製造/配送/販売/廃棄までのCO2量を表示するカーボンフットプリントをわかりやすくご紹介



出展ブースイメージ（東京ビッグサイト 東2ホール）

2. 生物多様性ゾーン（守るべきもの）

① セブン&アイの熱帯林保全活動支援

森林破壊によるCO2排出を防ぐため、セブン&アイが支援している「国際熱帯木材機関（ITTO）」のインドネシアでの活動の様子をご紹介します。

② セブン-イレブン記念財団の取り組み

「九重ふるさと自然学校」の取り組みや霧多布湿原の保全、セブン&アイ社員が定期的に行っている三宅島での緑化プロジェクトの様子等をご紹介します。実際に活動しているスタッフによるワークショップも開催。

③ セブン銀行の取り組み

森の魅力を感じ、自然の大切さを学ぼうという「ボノロンの森環境活動」のご紹介。絵本「森の戦士ボノロン」のエコプロ特別号の配布も実施。人間サイズになったボノロンと記念撮影も。

3. 企業でできるエコアクション・ゾーン（企業が果たすべき役割）

① 環境配慮型店舗にて子ども店長体験

最新のセブン-イレブンエコ店舗の工夫やエコアクションにつながる業務を体験。

初公開のセブン-イレブン・エコカーへの充電シミュレーション体験も実施。



昨年の子ども店長体験の様子
（2009年エコプロ会場）

② セブンファーム

「完全循環型農業」と呼ばれる、自然の恵みを捨てずに食べ物を大事にリサイクルする方法を、野菜や土等の実物を用い、生産者たちの声を交えてご紹介。

③ カーボンフットプリント

試験的にオリジナル商品『セブンプレミアム』の一部商品のCO2量の構成をわかりやすいイラストを用いてご紹介。



セブンファーム
 昨年の種まきワークショップの様子
 (2009年エコプロ会場)

4. 家庭でできるエコアクション・ゾーン (一人ひとりが家庭でできる役割)

① 家庭でできるエコアクション

冷蔵庫やテレビ等の実機の入った一般家庭のキッチンやリビングを使い、誰もが今日からできるエコアクションをご提案。また、この夏にセブン&アイ社員による家庭でのエコアクション「省エネエコ得キャンペーン」の優秀者のメッセージもご紹介。

② 地球にやさしい晩ご飯の提案

普段の商品選択の指標である「価格」と「カロリー」に新しく「CO2」を加え、「地球にやさしい晩ご飯」のメニュー作りをご体験。

③ エコアクション宣言

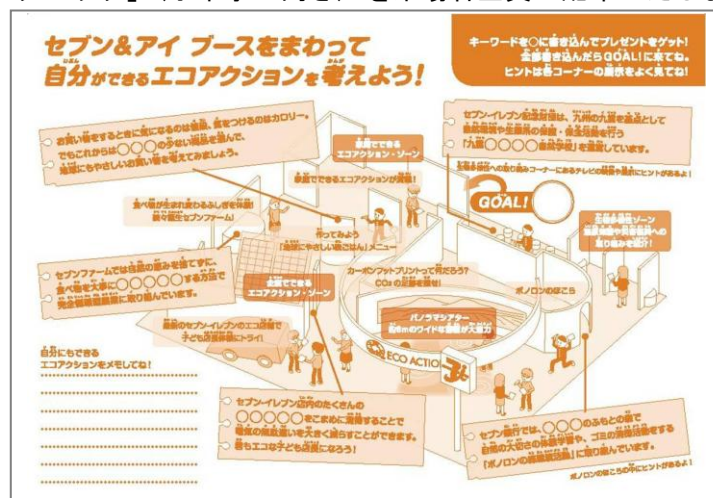
ブースを通じて発見・共感したエコアクションの中から、自分自身がチャレンジできそうな項目を選び、自己宣言していただくコーナー。



以上

ご参考

◆見所をわかりやすくまとめた「ワークブック」(小中学生向き)を来場者全員に配布いたします。



「木づかい運動」顕彰 『農林水産大臣感謝状』を受章!

セブン&アイ HLDGS.では、国産木材を30%以上使用し、地球温暖化に貢献できる紙製飲料「カートカン」の積極的な販売の取り組みが認められ、特定非営利活動法人 活木活木(いきいき)森ネットワーク様より、農林水産大臣感謝状をいただきました。

- ◆贈呈式 : 2010年12月9日(木) 13:30~14:00 東京ビッグサイト 西ホール ルームEC
- ◆受章内容のプレゼンテーション : 2010年12月9日(木) 16:00~16:15 「木づかい運動で森林づくり」
 東京ビッグサイト エコプロ会場内 ネットワークステージにて
 受章した「カートカン」販売の取り組みをお話いたします。